

環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング発表資料

活動団体名：NPO法人まちづくりネット東近江
(公益財団法人東近江三方よし基金)
活動地域：滋賀県東近江市



活動におけるテーマ

循環共生社会を実現する 志のあるお金の循環

地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

◆地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

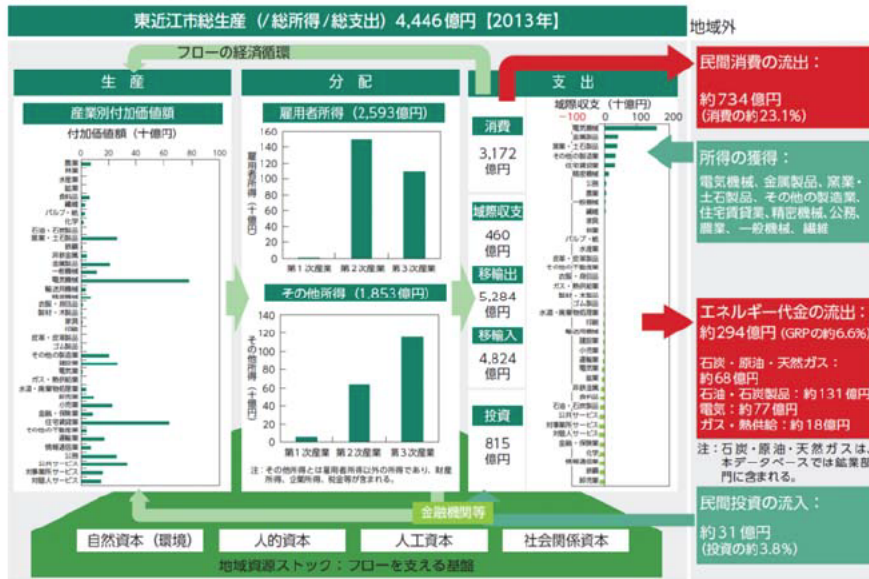
循環共生型社会

本市が持つ豊かな自然と人々の営みを有機的につなげ、「地域から大都市へ人材、資金が流出する社会構造」から「地域の自給力と創富力を高める地域完結型の構造」へ転換して、「市民が豊かさを感じる循環共生型社会」を創生しようとするものです。また、同じ琵琶湖流域にある都市へ自然資源、生態系サービス等を提供し、資金、人材などの提供を受け、健全な都市との循環共生を目指すものです。



地域の現状と課題

東近江市の地域経済循環分析結果



地域経済の課題

- ◎消費の流出 734億円
- ◎エネルギー代金の流出 294億円

地域資源の毀損

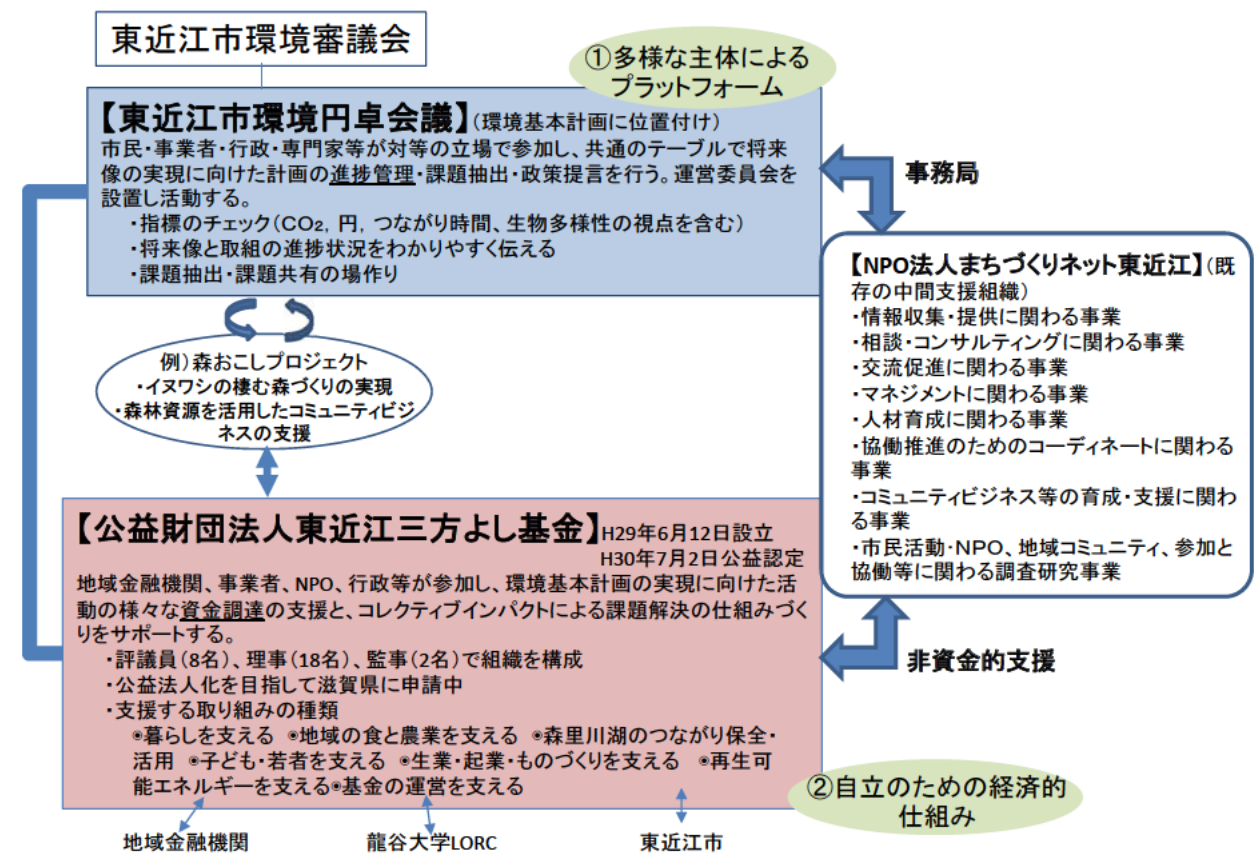
- ◎自然資本 森林の荒廃、愛知川
- ◎人的資本 人口減、引きこもり
- ◎人工資本 インフラ過剰と劣化
- ◎社会関係資本 社会的孤立、地縁弱体化

注：消費＝民間消費＋一般政府消費、投資＝総固定資本形成（公的・民間）＋在庫純増（公的・民間）
資料：環境省、株式会社価値総合研究所「地域経済循環分析」

<地元信用金庫の預貸率>

822億 / 2,048億 = 40.1%

地域循環共生圏の実現のための体制図



地域循環共生圏を活用して目指す地域の実現のために

Environment & Social (人と自然、人と人のつながりの継承)

東近江三方よし基金では、環境 (CO2、生物多様性)、経済 (地域経済貢献度)、社会 (人と自然・人と人のつながり時間) の視点で、分野を超えてつながるプロジェクトを支援

「食と農」を支えるプロジェクト

市民の寄付を、地元野菜の地域内流通を支える株式会社へ出資し、その配当で公益事業を支える仕組み

MURASAKI no ORGANIC

万葉の時代から滋賀県東近江地域にある「葉草(ムラサキ)」を使ったオーガニックのスニケアコスメ「MURASAKI no ORGANIC」を商品化。耕作放棄地の解消と山間部の雇用創出を目指す。

政所茶生産復興

室町時代から続く有機栽培・手摘みの政所茶の継承を実現するため、付加価値の高い販路開拓、山村の丁寧な暮らし体験ツアー等を実施する。

市民共同発電所

市民出資で太陽光発電を設置し、その売電益は地域商品券で還元し、地域でお金を回す仕組みにつなげる。その一部を公益活動への寄附にあてる団体もある。

がもろ夢工房

空き店舗を改修して、地域の拠り所としてコガモカフェをオープン。着地型観光や人材バンク、子ども食堂など、地域の拠点として活用。定期的にマルシェを開催し、地元野菜や果物を販売。

東近江市における社会的投資推進に関する協定締結 (2018.11.16)

湖東信用金庫 (地域金融機関)

- 地域の社会的投資商品の紹介
- 東近江三方よし基金の理念に貢献する起業・創業提供融資を検討

公益財団法人 東近江三方よし基金 (基本財産は772名の志民寄附)

H29.6.12設立 → H30.7.2公益認定

東近江市版SIB事業 (地域の社会的投資による成果運動補助金) 自然環境を生かした新・近江商人応援事業 (寄附を活用した起業・創業支援助成) etc

プラスソーシャルインベสต์メント株式会社 (第二種金融商品取引業者)

- 社会的投資の案件組成
- 社会的投資のためのプラットフォーム設置・運営

・普及啓発
東近江市・事業者募集及び交付金支払・評価委員会に参加
社会的事業への資金調達支援に関する協働協定書 (2017.6.20)

薪プロジェクト

獣害を防止するための雑木林を伐採し更新するため、雑木を薪として販売し、エネルギーとして利用する仕組み。薪製作業を地域の働きづらさを抱える若者らの中間的作業の場となる。

Local Governance (共に考え、共に創る 地域自治の継承) ※認定NPO法人まちづくりネット東近江と連携

東近江三方よし基金では、市と連携して多様化する地域の課題を発見・共有し、共通価値を創出する自治のあり方を継承

コレクティブインパクト事業 「イヌワシの棲む森づくり」

市域の56%を占める森林は、イヌワシが生息し、多様な豊かな生態系が維持されていた。しかし、材面の低迷や所有者の高齢化など、豊かな森はその姿を変えている。森林・林業・木材に関する多くの利害関係者と研究者、行政が集い、その課題の明確化と具体的な対応策について議論し実践につなげるプロジェクト。

プラットフォーム

東近江市環境円卓会議
環境・経済・社会の視点で、分野を超えてつながるプロジェクトを普及すると共に、環境基本計画の進捗管理も担う。新たな地域課題を深め共有する場を設定する環境円卓会議を運営する。

人材育成

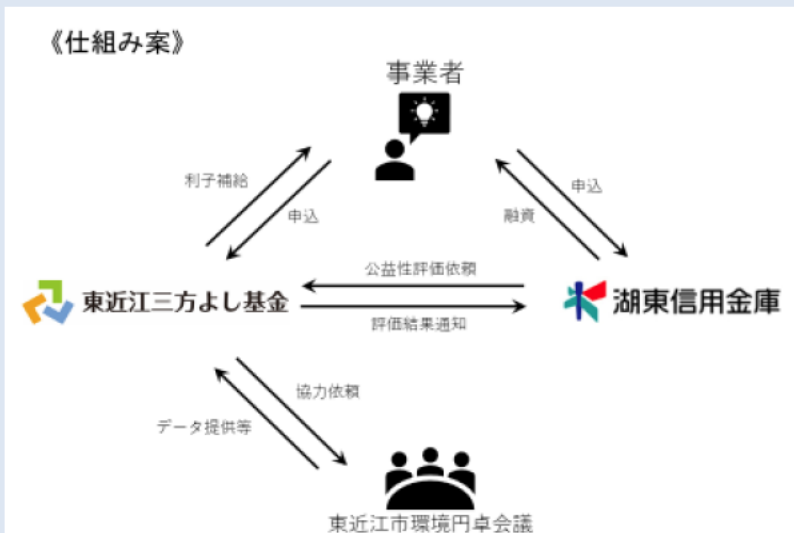
地域ブランディングの本質
東近江市で暮らし続ける地域ブランディングを実現するため、市民が主体的にまちに関わろうという前向きな気持ちを育む人材育成について行政、市民、企業、教育機関等が議論し具体策を検討する。

ぐるりの家

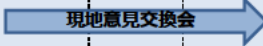
空家を活用して、産前産後の母親を支える活動を実施する。マイ助産師制度を普及するための勉強会や、母親の社会参加をサポートするなど、経験を生かしたビジネスの展開を模索している。

今後の事業取り組み予定

◆助成金や行政補助金等単年度の支援を受け、立ち上がった事業の継続や発展を支える融資制度を地域金融機関と連携して創設します。地域金融機関が創設する融資制度において、東近江市環境円卓会議が設定する環境 (CO2削減または生物多様性保全)、経済 (地域経済への貢献度)、社会 (人と人・人と自然のつながり時間の増加) の評価軸を審査に生かす仕組みを具体化すると共に、公益財団法人東近江三方よし基金が採択された事業者へ利子補給する仕組みを構築します。



スケジュール（令和元年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
事業全体の予定				<ul style="list-style-type: none"> ◇請負業者決定 ◇事務局設置 ◇キックオフミーティング 				現地意見交換会 		<ul style="list-style-type: none"> ◇中間報告書提出期限 活動回休成果報告書提出◇ 			<ul style="list-style-type: none"> ◇成果発表会 ◇シンポジウム
ビジョンの 策定					<ul style="list-style-type: none"> ◇検討WGメンバーの検討 ◇東近江市環境円卓会議運営委員会協議 	<ul style="list-style-type: none"> ◇検討WG① 	<ul style="list-style-type: none"> ◇検討WG② 	<ul style="list-style-type: none"> ◇検討WG③ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇具体策案 			<ul style="list-style-type: none"> ◇具体策策定 ◇関係機関への協議 	
ステークホルダー の巻き込み				<ul style="list-style-type: none"> ◇湖東信用金庫へ依頼 ◇環境円卓会議運営委員会へ依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ◇滋賀県琵琶湖環境科学研究センターとの連携協議 			<ul style="list-style-type: none"> ◇事業者相談会 	<ul style="list-style-type: none"> ◇環境円卓会議へ協議 				